

## 政務活動費活動報告（研修）

- (1) 研修名：第9回全国市議会議長会研究フォーラム in 岡山市
- (2) 参加者：上杉 正敏
- (3) 日時・場所：平成26年8月6日（水）・7日（木）岡山シンフォニーホール

### 【1. 研修目的】

地方分権推進に関する決議から20年を経て、地方自治体等からの提案募集方式が導入されるなど、地方分権改革は新たな局面を迎えています。また、人口減少・少子化の問題が国民的課題となっている今日我が彦根市においても他人事とは思えません。そうした中で、今回の研修会に参加することにおいてこれからの市政に少しでも役立てたいとの思いで参加しました。

### 【2. 結果報告】

#### (1) 内 容

8月6日（水）

**基調講演** 「人口減少時代と地方議会のあり方」 増田 寛也氏 野村総合研究所顧問

**パネルディスカッション** 「分権改革20年と地方議会のあり方」

コーディネーター 牛山 久仁彦氏 明治大学政治経済学部教授

パネリスト 林 宜嗣氏 関西学院大学経済学部教授

穂坂 邦夫氏 元 志木市長

土山 希美枝氏 龍谷大学政策学部准教授

城本 勝氏 NHK解説副委員長

則武 宣弘氏 岡山市議会議長

8月7日（木）

**課題討議** 「議会のあり方について」

コーディネーター 横道 清孝氏 政策研究大学院大学副学長

事例報告者 海老原 功一氏 流山市議会議長

川上 文浩氏 可児市議会議長

高橋 健二氏 大津市議会前議長

#### (2) 考 察

増田 寛也氏の基調講演では、迫りくる人口減少時代を我々地方議会が真剣にこの問題に取り組んでいかなければ、30年後には「消滅可能性都市」が、人口1万人以上の市町村で373もなるとの調査分析結果を聞き俄然とするとともに、本当に少子化対策を真剣に考え定住自立圏構想を進めていかなければならない事を強く感じました。パネルディスカッションと課題討議では、「分権改革20年と地方議会のあり方」と「議会のあり方について」有識者のみなさんや3市の市議会議長の事例報告を聞かせていただき、今後の彦根市議会におおいに役立てていきたいと強く感じました。